

高知県知事選挙

高知新聞 2019. 11. 17 08:26

2019高知県知事選【来援支援】希望与える政治つくる 国民・玉木代表が訴え



「知事選で勝てば日本の政治が変わる」

と訴える国民民主党の玉木雄一郎代表（16日午前、土佐市高岡町＝佐藤邦明撮影）

国民民主党の玉木雄一郎代表が16日、県知事選の野党統一候補の応援で来高。土佐市内で演説し、「地域に安心と幸せ、希望を与える政治をつくっていききたい」と訴えた。

玉木氏は国会で審議入りした日米貿易協定の承認案に関し「何も取るものがないのに農産物（の関税）を譲りに譲る。地域の1次産業が成り立たなくなる」と指摘。来年度からの導入が見送られた大学入試の英語民間試験についても「明らかに高知県の受験生は不利だ。不平等、不公正を許してはいけない」と述べ、安倍政権の対応を批判した。

また首相主催の「桜を見る会」を巡り、内閣府が招待者の名簿を破棄したとしていることについて、「都合の悪いことをなかったことにし、事実をねじ曲げるような政治は変えないといけない」と強調。「地域の暮らしや福祉、平和を守るために勝たないといけない。知事選で勝てば高知から日本の政治が変わる」と呼び掛けた。（大山泰志）

高知新聞 2019. 11. 17 08:26

2019高知県知事選【来援支援】国民とつながる政治を 社民・福島副党首が来高



「私物化された政治に対抗しよう」と呼び

掛ける社民党の福島瑞穂副党首（16日午後、高知市帯屋町1丁目＝佐藤邦明撮影）

社民党の福島瑞穂副党首が16日、県知事選の野党統一候補の応援で来高。高知市内で野党の女性国会議員らと街頭演説を行い、「国民の生活とのつながりが切れた今の政治を変え

る」と訴えた。

福島氏は、政府が進める通商政策やカジノ解禁を含む統合型リゾート施設（IR）整備法、種子法廃止などを「何でもかんでも大企業や外資系に売り飛ばす」と批判。大学入試への英語民間試験導入にも言及し、「安倍政権は『金持ちの子は金持ちに、貧乏の子は貧乏に』と考えている」と非難した。

その上で、知事選の対立候補が元総務官僚で、副知事を務めていた大阪府がIR誘致を図っていることを念頭に、「安倍内閣のイエスマンでは高知を守れない」「『ばくち解禁法』を推進してきた人に高知を任せてはいけない」と主張。「子どもが一番育ちやすい県、高齢者が安心して暮らせる県、安心して働ける県にしよう」と呼び掛けた。（大山泰志）

高知新聞 2019. 11. 17 08:26

2019高知県知事選 私はこちらする(9)中山間対策

県人口の約47.1%が高知市に集中する一方で、郡部の集落が衰退しています。中山間地域の維持・活性化策を示してください。（敬称略。届け出順）



松本顕治 無所属・新（立憲民主党高知県連、国民民主党高知県連、共産党、社民党推薦）

食料生産の4割を担うとともに、山を守り、国土を保全し、豊かな歴史文化を持つ中山間地域は高知の宝です。

高齢者の生活を支えている地域包括支援センターの機能を抜本的に強化します。地域公共交通の拡充やデマンド乗合タクシーなど生活交通を拡充し、水源管理の支援など住み続けられる支援をさらに強化します。

農林業・観光などの産業振興、鳥獣被害対策、エネルギーの地産地消など、引き続き地域の実情に沿った支援に努力します。

国に対して中山間地直接支払制度の条件緩和と充実などを強く求めます。若者の移住促進のために小規模校が、魅力あふれる学校として存続できるよう支援を強化します。



浜田省司 無所属・新（自民党、公明党推薦）

「高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域の実現に向け、さらなる対策強化を図ります。

本県の93%を占める中山間地域は1次産業が盛んで、豊かな自然、食、文化といった地域資源を有し、発展の源となる地域です。

若者が住み続けられる中山間地域の実現なくして高知県の発展はないという強い思いの下、産業振興計画や日本一の健康長寿県構想、インフラ整備、教育など、全ての施策にわたって中山間地域を念頭に置いて取り組みを進めます。

併せて、集落活動センターのさらなる普及と活動の継続・拡充に向けた支援と、集落の暮らしを守るため、鳥獣被害対策や地域の移動手段の確保などの取り組みを推進します。

17日の候補者

【松本候補】高知市、香美市、高知市

【浜田候補】高知市、南国市、高知市

▼政見放送

RKCラジオ(午後4時45分から松本、浜田各候補の順)

しんぶん赤旗 2019年11月17日(日)

高知知事選 希望の政治 松本候補と 国民・玉木代表や各党女性議員



(写真) 松本けんじ知事候補(右)の応援演説をする国民民主党の玉木雄一郎代表

＝16日、高知県土佐市

市民と野党の共闘の松本けんじ候補(無所属)が、自民・公明推薦の官僚候補を猛追している高知県知事選(24日投票)で16日、国民民主党の玉木雄一郎代表や野党各党の女性国会議員らが応援に駆け付け、松本氏とともに県民に支援を呼びかけました。

玉木氏は土佐市での応援演説で、「地域で暮らす人に安心と幸せと希望を与える政治をぜひ松本さんと一緒につくっていききたい」と表明。農産物の関税で譲りに譲った日米交渉を批判し、「第1次産業を本当に大切に政治に変えよう」「松本さんが勝てば高知から日本の政治が必ず変わっていく」と訴えました。

松本候補は▽高知の隅々で1次産業で暮らしていける環境づくり▽地元で根差した再生可能エネルギー▽高知県最大の雇用の場である医療・介護・保育での雇用改善などを熱弁。国に対しても政治を変える展望をもって県民の立場でものを言う」と表明し、「この選挙での勝利こそ国の政治を変えていく巨大な一歩になる」と話しました。

続いて高知市の街頭で野党各党の女性国会議員らと共同で演説



(写真) 野党女性議員らとともに訴える松本けんじ知事候補(中央)

＝16日、高知市

立憲民主党の池田真紀衆院議員が「国でつくられた枠を押し付ける候補ではなく、県民の生活を知る首長を」、国民民主党の森ゆうこ参院議員が「草の根の力で高知に若きリーダーを」、社民党の福島瑞穂副党首が「安倍政権のイエスマンに高知は守れない」、新社会党の岡崎宏美委員長も「国にも大きな声をあげていく力を高知でつくろう」と松本候補への支援を呼びかけました。

日本共産党の吉良よし子参院議員は「県民の声をないがしろにするような“行政経験”は要らない。県民の命を守れと言え知事が必要です」と訴えました。

松本候補の「あなたと野党の共同の力で『だれ一人取り残さない県政』をつくろう」との呼びかけに聴衆は盛んな拍手で応えました。

しんぶん赤旗 2019年11月17日(日)

高知知事選 デニー沖縄知事 応援メッセージ

大激戦の高知県知事選(24日投票)をたたかっている野党統一の松本けんじ候補の元に、沖縄県の玉城デニー知事から応援メッセージが届きました。15日付。メッセージの全文を紹介します。

◇

高知のことは高知で決める

あなたの若い力で県政のトップリーダーとしての役割を果たしてください

だれ一人取り残さない県政を——心から期待します

しんぶん赤旗 2019年11月17日(日)

主張 高知県知事選挙 県民に向き合う知事を選ぶ時

24日投票の高知県知事選は、市民と野党、保守の人たちの幅広い支援を受けた松本けんじ候補と自民・公明推薦の官僚出身候補との一騎打ちです。「安倍晋三政権に顔を向けた知事を選ぶのか、県民に向き合う知事を選ぶのか」が焦点です。松本候補が猛然と追いつける大激戦・大接戦の選挙戦です。

切実な要求に根ざして

松本候補は「ここでいっしょに生きよう。だれ一人取り残さない県政へ」を掲げ、前県政の良い面を伸ばすとともに変える

べきは変え、県民と歩む県政をめざします。

政策の柱は(1)県内労働者の20%を占める福祉・医療・介護分野の処遇改善、中小企業支援を抜本的に強め時給千円以上を促す、農林漁業への抜本的な支援、再生可能エネルギーの普及促進で地域循環型の経済をつくる(2)県版学力テストの廃止、教員を増やし子どもが健やかに成長できる教育改革(3)同性パートナーシップ条例などジェンダー平等を県として強力に推進(4)耐震化・避難所整備など南海トラフ地震・豪雨対策の加速(5)国民健康保険の子どもの均等割廃止、学校給食無料化、県独自の給付型奨学金制度創設など「子育てするなら高知県」といわれる県政づくりです。いずれも県民の切実な要求に根差したものです。

自公推薦候補は、大阪府副知事時代に国保の統一保険料化で全国一の値上げを進め、「カジノ」も容認し府知事と一体で推進してきました。経済政策は、大阪万博などの「活力」を持っていくことが最重要と主張する“大都市依存”です。「地方は直ちに受け入れがたい課題であっても、折り合いをつけていくのが現実的な解決策」と国言いなりの県政を持ち込もうとしています。「国政与党の自民党に支援していただき感無量」と安倍政権丸抱えの姿勢もあらわです。

この選挙は、松本候補を支援する市民と野党、保守の人たちとの共同が一層発展する中でたたかわれています。高知2区で野党共闘で勝利した保守政治家の広田一衆院議員が選対本部長、県内5野党代表が副本部長、県議会で日本共産党と共同する会派「県民の会」代表が幹事長を務めます。さらに高知県内五つのブロックで野党共同の選挙態勢がつくられ、各市町村にも広がっています。高知の野党共闘は幾重にも深化をとげています。この選挙は、野党共闘を大きく前進させて、安倍政権を倒し、野党連合政権へと道を開く重要な意義を持っています。「桜を見る会」をはじめ国政を私物化する安倍政権に怒りの声を示す機会です。

元自民党で建設相だった中村喜四郎衆院議員(無所属)は「人の話を聞かない、安倍一強体制、長いものに巻かれろ、こういう政治のおかしさに気づかねばならない時代になった」「共産党だからダメという考えが自民党を利してきた。それを乗り越え、共産党知事の誕生という奇跡を起こそう」と熱く呼びかけています。野党の党首を先頭に、各野党の国会議員も連日高知に入り支援を強めています。

新しい政治の未来開こう

「県政を官僚の天下り先にするな」と多くの県民が立ち上がっています。埼玉、岩手に続き高知県知事選で市民と野党の共闘が勝利するには全国の支援が必要です。自由民権運動発祥の地・高知県での松本候補勝利で新しい日本の政治の未来をともに開きましょう。